

平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果分析票

学校名: 志木市立宗岡第二中学校 第 1 学年			
項目	成 果	課 題	改 善 策
国語	無解答率は県・市の平均とあまり変わらない。	ほとんどの項目で県・市の平均をやや下回る状況。文法や熟語の構成など、規則性を正しく理解することが必要なものが弱い。	説明文の構成、語句の意味、文法の規則性を理解することによって、より早く、正しい読み取りができることを指導していきたい。
算数 数学	小学校でつまずいている部分が明確になった。特に分数、比例など。	全ての項目で県・市の平均を下回っている状況である。特に、文章題の正答率が低い。また、「速さ・時間・距離」や「比例」も理解度が低いと思われる。無解答率の高さも気になる。	小学校で学んだ内容が不確かであるので、中学の関数はじっくり取り組む必要がある。また、何を聞かれているのか読み取る力を付けさせていきたい。さらに、分かるところまで記述することを指導する必要がある。
英語 中学校			
児童 生徒 質問 紙	・学習面における疑問等をそのままにせず、友達や教員に尋ねて解決使用とする姿勢を窺うことができる。このことは、毎授業で学び合いの場を設定する宗二中授業スタイルの実践の成果であると考えられる。	・学習に取り組む姿勢(授業準備・話を聞く際の集中力・家庭学習の時間等)に課題がみられる。 ・スマートフォンやゲーム・パソコン等の使用に割く時間が長い。 ・「自分には良いところがない」と回答する生徒が比較的多く、全体的に自己肯定感が低いこと	・学校と家庭で連絡を密に取り合い、学習規律や学習習慣、情報機器の適切な使用方法を身につけさせていく。 ・子どもたちとのコミュニケーションに重点を置き、問題行動に対してだけではなく、良い行動に対しても積極的に声をかけ、称賛の場を設ける。